

梓荘だより 梓荘40周年増刊号

発行

障害者支援施設

梓荘編集部

〒390-1702

松本市梓川梓 5055-5

TEL0263-78-4490



中庭工事



正面玄関工事中



完成した正面玄関



クレーン工事



40周年を迎えて

梓荘施設長 小出 充 則

梓荘は昭和53年4月に開所し、平成の時代を経て、令和元年を歩みだし、ここに40周年の節目を迎えることができました。ひとえに地域の皆様方の深いご理解と、関係機関の皆様、利用者の皆さん、ご家族の方々のご支援とご協力のお陰と心より感謝申し上げます。

40年の長い歴史の中では、平成18年の障害者自立支援法の制定、さらに25年には障害者総合支援法への改正と、ここ十数年で福祉施策は大きく進展し、障がい者の権利擁護と個性性が強く示され、利用者のニーズに沿った支援が大切にされる時代となりました。また、在宅サービスの充実や、グループホームへの施設入所者の地域移行が進められてきましたが、梓荘は障がいのある方々への介護を通じて生活を守る入所施設としての使命を再認識し、平成22年から3年をかけて、生活環境の改善を図るべく、居室棟の増築や古くなった既存建物の大規模改修を進めて参りました。さらに、平成24年には在宅障がい者を通所部として迎ええる「つのかげの里」を開設し、生活介護サービスの充実に努めて参りました。

私は、梓荘開所から4年後に当法人に就職し、梓荘には現場の介護業務を含めて三度の勤務経験があります。この間、梓荘を直接間接的に見守ってきました。20数年前に初めて梓荘勤務をした時には、若く元気な利用者の皆さんが多く、遠方までの一泊旅行がでたり、強い日射しにも負けない代謝力があって、近隣のリング畑まで車イスを押して散歩にでかけることもありました。初めて介護業務を経験し、わからないことばかりで苦い思い出もたくさんありますが、それでも利用者の皆さんが逞しく暮らしている姿に励まされたり、深い思いやりをいただいたお陰で、「福祉の根源的な事柄」に近づけたように感じています。私も梓荘に育ててもらったと思っています。

時代は変わり、さらに梓荘も発展していくでしょうが、めざすことの本质は、いつの時代も変わらない「安全な暮らしを提供し、利用者の皆さんが健やかに過ごされること」だと思っています。時代を見通しつつ、日々途切れることなく、サービスの提供に務めて参ります。

今後とも、皆様方の更なるご理解とご協力をお願いいたします。

春 祭 り

行事の変遷



以前は外でバーベキューをしていました



四十周年を迎えて

家族会会長 米 窪 正 幸

今年の四月で三十年続いた平成も終わりを迎え元号も令和へと移り、この節目の年に梓荘の開設四十周年お祝いの記念式典、誠におめでとうございます。

四十年積み重ねられた梓荘の姿を、ご支援、ご協力賜った地域の皆様、関係機関の皆様へ感謝し、職員スタッフ、利用者の皆さん、家族会の皆様と共々祝いたいと思います。四十年の歩みはほとんどわかりませんが、家族会長の立場で今まで発行された「梓荘だより」を見直しながら私なりに四十年を回顧してみました。

ご存じの通り梓荘は昭和五十三年に開設され多くの諸先輩方々により引き継がれながら長い歴史を刻み四十周年を迎えられました。

一言に四十年というけれど非常に長い年月であり、社会福祉情勢の変革により施設環境の変化、様々な福祉関連の法改正などによって、支援現場の対応の難しさ、大変さは年々増大してきているように感じとれます。

平成二十二年から三年をかけて大規模改修、増築工事を行って頂き新生梓荘に生まれ変わり利用者の皆さんの生活は、安全、安心、心休まる生活環境へと改善されてきています。

また、恒例で毎年行われている諸行事を多くのボランティアの皆様方や地域、関係者の皆様との触れ合いを楽しみにし、生き甲斐として生活している様に伺われます。このように職員の努力、頑張りが今の梓荘の姿であり嬉しく思い感謝申し上げます。

最後にこれからも、尚一層安全で温かい雰囲気のある梓荘になれるよう家族会も精一杯協力していけるよう努力してまいりますので、地域の皆様の変わらぬご支援、ご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。

利用者

米窪さん

私 この梓荘に世話になって、今年で 丸 十一年と成ります。

この梓荘に来て 早いもので二番目に長い所と成りました。思い越して見れば、私は 幼い頃より施設を 転々として参りました。

この梓荘が 安住な所として考えています。私にとってやすらぎの里の場所として、私 自身が此処に 身をおいています。これからもよろしくお願いします。

夏 祭 り

行事の変遷



花火は変わらず続いております



流しそうめんをしていました



火気厳禁



家族会の屋台

秋 祭 り

行事の変遷



ボランティア



梓川中学校



ケアあずさ



上立田地区



下角地区



梓川日赤奉仕団



民生委員



天理教梓分教会



生け花



朗読あゆみの会



立正佼成会

今まで
お世話になった
ボランティア

医務室、この十年

10年前、梓荘は自然が多く花木に囲まれ、時には芝生の上にシートを敷き、そこで、日光浴をする利用者と職員の、のどかな光景が懐かしく思い出されます。平成23年から喀痰等の研修制度が始まったことで、利用者の高齢、重度化となつているにもかかわらず、利用者の入所が叶わないこともありました。福祉施設での医療行為の限界も感じております。

平成22年からは、居室棟の増築や大規模改修工事が行われ、通所部が開設され、ハード面、ソフト面も随分と変わり、看護師が増員され、利用者の健康な暮らしの提供に努めてまいりました。

最近、医務室では、利用者の個々の変化について、そして、梓荘を去られた方々の生の歩みを回想することが度々あります。体調を崩され、容態が悪化した時、私たちは様々な葛藤の中で利用者の対応をします。梓荘で看取りをさせていただいた利用者は全職員で支援させていただき、最後まで寄り添えたことはとてもありがたい経験で、沢山のことを学びました。私は、死生観が変わりました。

これからも、医療行為、感染症対応等課題はありますが、信頼できる嘱託医の指示のもと、利用者のニーズに沿った支援ができるように努力していきます。

旅 行

平成
22
年

浜松フラワーパーク・館山寺温泉

平成
26
年

ディズニーランドと葛西臨海公園

平成
23
年

西浦温泉・名古屋方面

平成
27
年

東京スカイツリーと浅草とみなとみらい

平成
24
年

八景島シーパラダイスと横浜中華街

平成
28
年

ディズニーシーと東京スカイツリー

平成
25
年

日帰り外出

利用者さんが大勢参加
できるよう日曜日に20回
おこないました。

平成
29
年

ディズニーシーと東京タワー

平成
30
年

日帰り

- 飛騨高山まつりの森
- 上越水族館の旅

行事・レクリエーション



寿司を賞味する会



コタケ出張販売



歯科大検診



夜間総合避難訓練



節分



忘年会



クリスマス会



アニマルセラピー



コーラス



スイカ割り



ホットケーキ

あゆみ

昭和 53 年 4 月 1 日	事業開始
平成 19 年 9 月	自立支援法新事業体系移行
施設整備	
平成 19 年	浴室・トイレ
平成 22 年	居室棟増築
平成 23 ～ 24 年	大規模改修
平成 24 年 11 月	通所部つのかげの里開設



開所寸前



クラブ



音楽クラブ



絵画クラブ



書道クラブ